

# 「余野川ダムと水道利水」

2002, 10, 20

「関西のダムと水道を考える会」(野村)

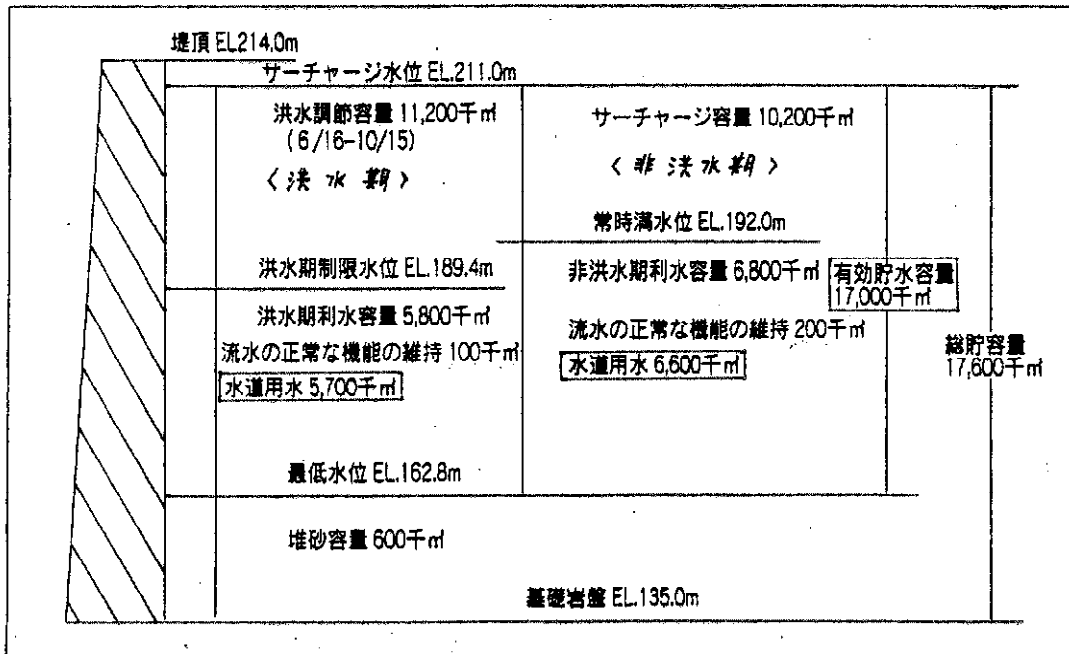
## 1) このダムの水道利水

- ・箕面市北部水道事業 10,000m<sup>3</sup>/日  
 (水と緑の健康都市、周辺既存集落)
  - ・阪神水道企業団 90,000m<sup>3</sup>/日  
 (神戸・尼崎・西宮・芦屋の4市へ上水を供給)
- (計) 100,000m<sup>3</sup>/日

## 2) 「水道用水」がこのダムの有効貯水容量に占める割合

- ・非洪水期
  - a)水道用水 6,600 千 m<sup>3</sup>
  - b)有効貯水容量 17,000 千 m<sup>3</sup>
  - a) ÷ b) × 100 = 38.8%
- ・洪水期
  - a)水道用水 5,700 千 m<sup>3</sup>
  - b)有効貯水容量 17,000 千 m<sup>3</sup>
  - a) ÷ b) × 100 = 33.5%

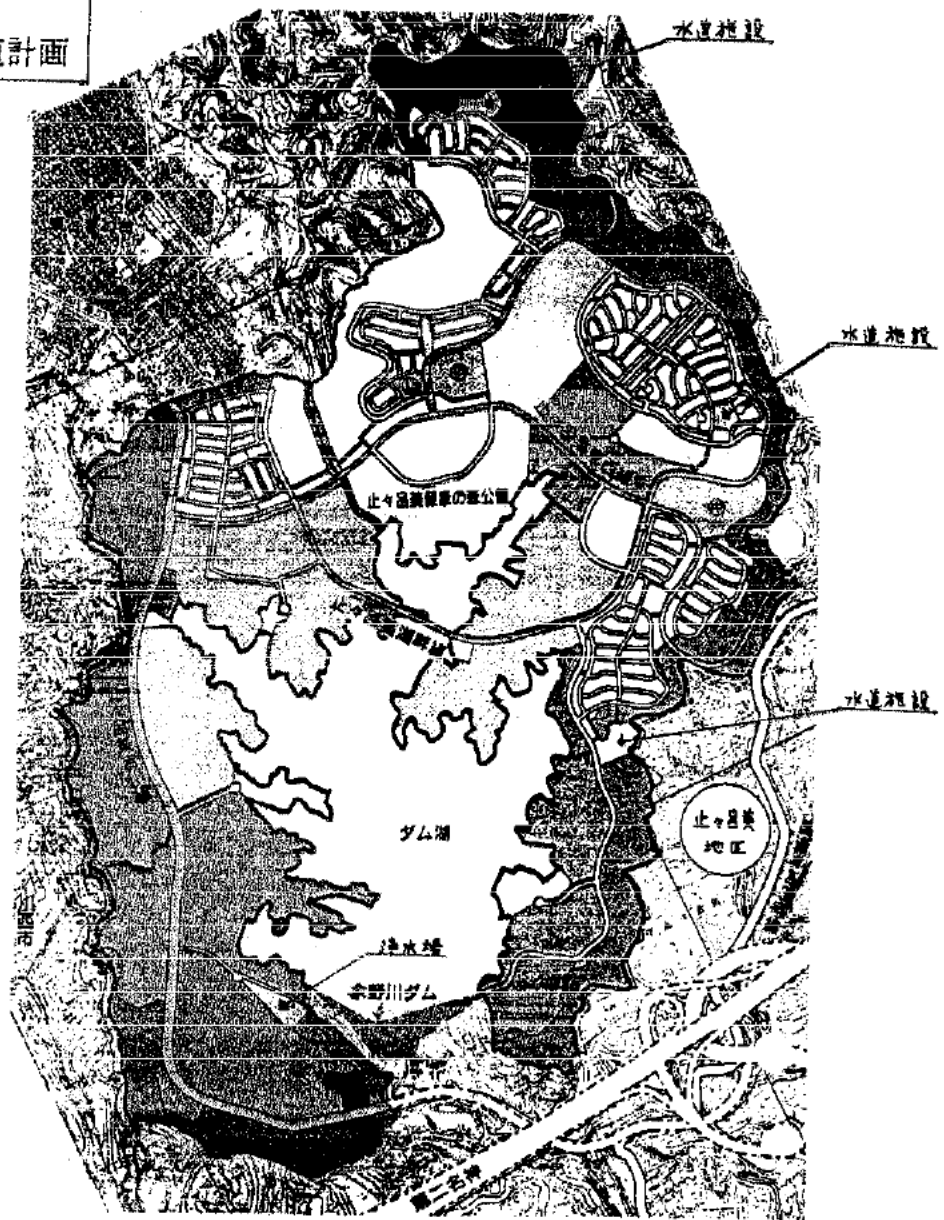
## ■余野川ダム貯水池容量配分図



洪水期制限水位 洪水期=6月16日~10月15日  
 非洪水期=10月16日~6月15日

※洪水期制限水位(梅雨や台風などによって大雨が集中する洪水期に備えてあらかじめ下げておく水位)

当初の  
箕面市北部水道計画



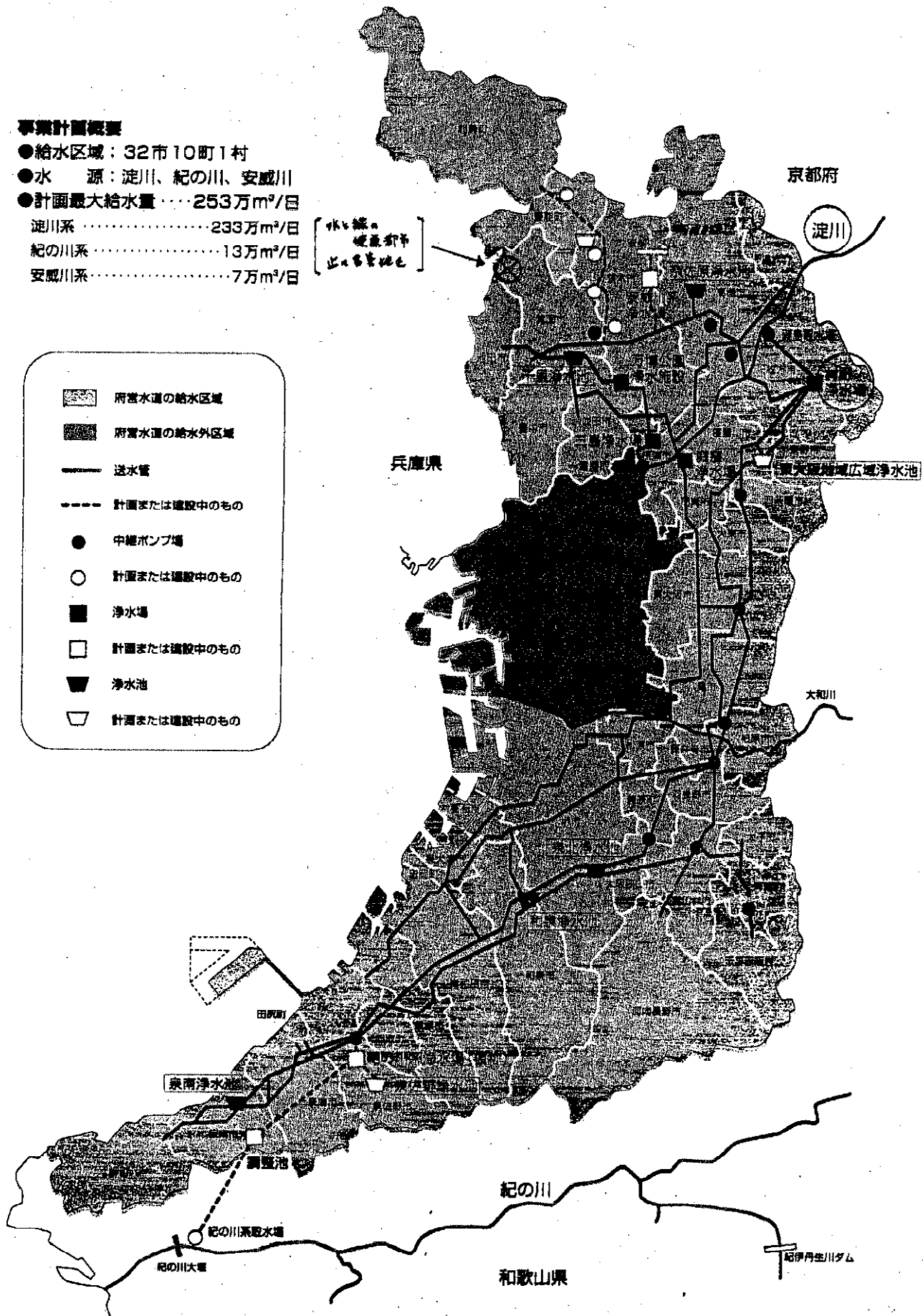
# 大阪府営水道の給水図

## 事業計画概要

- 給水区域：32市10町1村
- 水 源：淀川、紀の川、安威川
- 計画最大給水量……253万 $m^3$ /日
  - 淀川系……………233万 $m^3$ /日
  - 紀の川系……………13万 $m^3$ /日
  - 安威川系……………7万 $m^3$ /日

水の都  
健康都市  
びんがまのまち

- 府営水道の給水区域
- 府営水道の給水外区域
- 送水管
- 計画または建設中のもの
- 中継ポンプ場
- 計画または建設中のもの
- 浄水場
- 計画または建設中のもの
- 浄水池
- 計画または建設中のもの



## 「阪神水道企業団」

### 1) 阪神水道（阪神水道企業団）とは。

淀川から取水した原水を2ヶ所（猪名川浄水場・尼崎浄水場）で浄水し、神戸市・尼崎市・西宮市・芦屋市の4市に上水を供給している水道用水供給事業体（“水の卸屋”）です。

4市は阪神水道以外にもそれぞれに自己水源を持っていますし、芦屋市以外は兵庫県営水道の水も買っていますが、量的にはこれらのウエートは比較的低く、市により多少のバラツキはあるものの、概ね80%を阪神水道に依存しています。

### 2) 阪神水道の現況

阪神水道は現在、淀川に対して 1,194,000m<sup>3</sup>/日の水利権を持っていますが、将来はこれでも不足として、下記の新たなダム計画（水資源開発計画）に参画しつつあり、最終的に 1,353,000m<sup>3</sup>/日を目指しています。

	(獲得水利権)
余野川ダム（猪名川総合開発）	90,000m <sup>3</sup> /日
丹生ダム（滋賀県余呉町）	48,000m <sup>3</sup> /日
未定分	21,200m <sup>3</sup> /日
(計)	159,200m <sup>3</sup> /日

しかしながら、肝心の4市からの水需要の方は、一年間で最も多く給水した日の値（一日最大給水量）で見ても、95万m<sup>3</sup>程度が近年の実績値であり、上記の 1,194,000m<sup>3</sup>/日の現有水利権に比べて、漏水などのロスを考慮しても、ざっと20万m<sup>3</sup>も水利権を余らせているのが実状です。

因みに平成12年度における阪神水道から4市への一日最大給水量は次の通りです。

神戸市	596,000m <sup>3</sup>
尼崎市	196,000m <sup>3</sup>
西宮市	132,000m <sup>3</sup>
芦屋市	32,000m <sup>3</sup>
(計)	956,000m <sup>3</sup>

(※因みに、この年の「阪神水道」としての一日最大給水量は 954,000m<sup>3</sup>)

### 3) 4市の将来水需要

では、将来の予測はどのようなのでしょうか？

4市それぞれが将来計画を立てていますが、ここでは時間の都合で、4市の中で圧倒的な比重を占める「神戸市」についてのみご紹介しますが（別紙）、“現有給水能力で将来的にも余裕がある”としていることは、他の3市についても同じです。

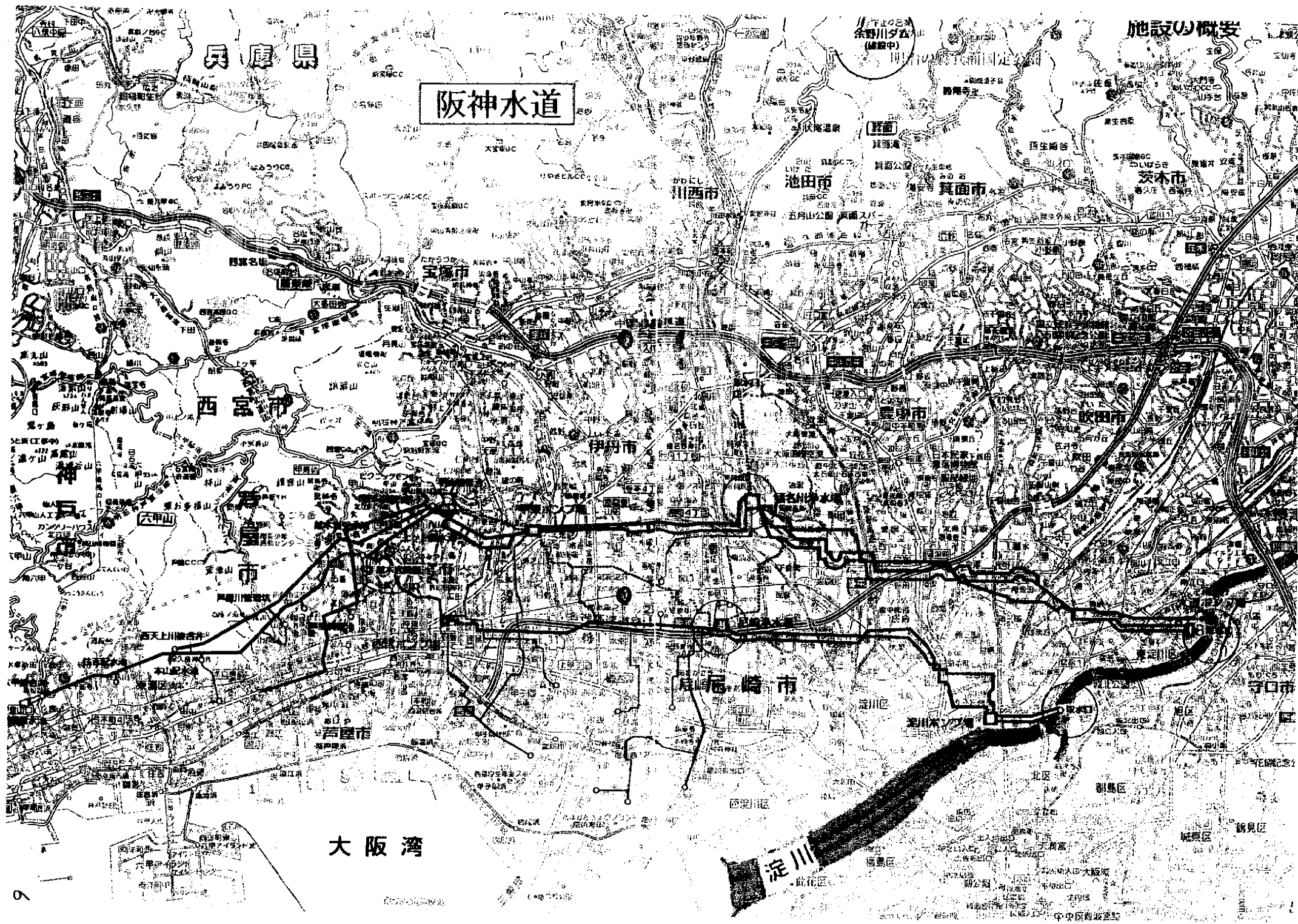
### 4) 結論

以上の事実と、この国の長期的な人口減少傾向も考え合わせれば、4市が将来的に今以上の給水枠を阪神水道に求めて来ることは考えられず、従って阪神水道が余野川ダム計画に参画して90,000m<sup>3</sup>/日の新たな水利権の獲得を図る必要性は無いと言えます。

兵庫県

阪神水道

施設の概要



大阪湾

淀川